

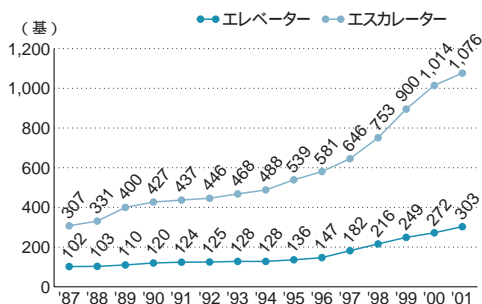
ひとにやさしい鉄道

JR東日本では「ひとにやさしい鉄道」を合言葉に、高齢者や身体の不自由なお客さま、小さなお子さま連れの方にも安心してご利用いただけるよう、駅と車内設備の改良を行っています。中でもエレベーター・エスカレーターについては、2000年に施行された「交通バリアフリー法」に基づいて計画的な整備を進めています。

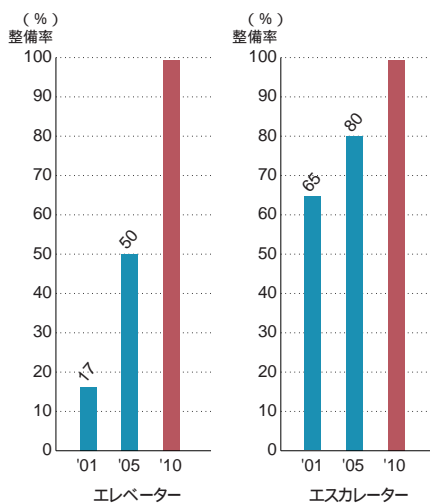
エレベーター・エスカレーターなどの整備

「交通バリアフリー法」に基づいて、地方自治体などと協力しながら、昇降設備の整備を進めています。具体的には、エレベーターを駅の基本設備と位置づけ、2010年までにバリアフリー法の対象駅*すべてに設置することを目標として整備します。また、エスカレーターについても、乗降人員の多い駅を対象として整備を進めていきます。

エレベーター・エスカレーターの設置数



エレベーター・エスカレーターの整備計画



授乳室・ベビーベッドなどの整備

2002年2月に生まれ変わった上野駅では、JR東日本では初めて授乳やオムツ替えのできる「ベビー休憩室」を新設(1F:新幹線乗換改札付近)しています。また、車両の設備においても、乳幼児をお連れのお客さまのために、ベビーベッドや多目的室を設置したり、女性のお客さまのための「女性専用トイレ」や「レディースパウダールーム」を設けています。

*乗降人員5千人以上かつ高低差5m以上の駅など約390駅

女性専用車両の導入

車内において、女性、男性双方のお客さまに快適に安心してご乗車いただくことを目的として、埼京線において女性専用車両を導入しています。



女性専用車両

ICカード「Suica」の導入・拡大

2001年11月、「ICカード出改札システム」の導入により、自動改札機に軽くタッチさせるだけで通過できる「Suica定期券」と「Suicaイオカード」を登場させました。「券売機・精算機に立ち寄る」「小銭を準備する」「カードをケースから取り出す」といった煩わしさが解消されます。



ICカード出改札システム

2002年4月からは東京モノレール(株)との共通化も開始し、JR東日本の首都圏エリアの461駅及び東京モノレール(株)の9駅で「Suica」をご利用いただけます。また、2002年5月には、ご利用者数が400万人を超えました。